

インフルエンザワクチンがかわります！

インフルエンザの予防にはインフルエンザワクチンの接種が極めて重要です。



【新しいインフルエンザワクチンについて】

- ▶従来のインフルエンザワクチンはA型のウイルス2種類・B型のウイルス1種類を含む3価ワクチンでしたが、今年度より、B型のウイルスが2種類含まれる4価ワクチンとなり、ワクチンの効果は高まっています。
病院職員は、職場でワクチン接種（無料*一部職員を除く）をしておきましょう！

- ▶インフルエンザワクチンは不活化ワクチンで、接種してもインフルエンザの症状（病原性）が現れることはありません。
- ▶インフルエンザワクチンは接種してから実際に効果を発揮するまでに約2週間かかり、効果は5ヶ月持続します。
- ▶妊娠14週以降の妊婦・授乳婦もワクチン接種は可能です。

職員のワクチン接種は、10月26日・27日・11月13日です！

インフルエンザ予防対策

- ① ワクチン接種
- ② 手洗い

インフルエンザの流行期には、咳やくしゃみでウイルスが手に付着し、色々な場所を触っています。インフルエンザウイルスはドアの取っ手やテーブルの表面に2時間以上も生息出来る事が確認されており、感染予防には手洗いが重要です！

- ③ 咳エチケット

咳やくしゃみなどの呼吸器症状がある方には、マスクの着用を促し咳エチケットの指導をお願いします。



マスクをきる



ティッシュなどぞ口と鼻を覆う



他の人から顔をそらす



鼻をかんだティッシュはすぐにゴミ箱に



石けんぞ手も洗う

インフルエンザに罹ったら

インフルエンザを疑う症状がある場合は、患者への感染源となるため無理な出勤は控えましょう。

職員がインフルエンザに罹患した場合は、解熱後3日間は休業となっています。（解熱して48時間以上経過してから復職してください）

抗インフルエンザ薬を服用すれば平均2日で解熱しますが、その時点でも8割以上はウイルスが残存しており感染源となる可能性があります。

解熱しても感染源となる可能性があるため、発症後10日間はマスクを着用をお願いします。家族や同部署の職員がインフルエンザに罹患した場合も10日間のマスク着用が必要です。

<正しいマスクの着用>



鼻と口の両方を確実に覆う



ゴムひもを耳にかける



隙間がないよう鼻まで覆う